

インフラ長寿命化へ

建協・技士会湖南の認定講習会

コンクリ有識者招き議論

一般社団法人・滋賀県建設業協会湖南支部（猪飼英男支部長）と一般社団法人・滋賀県土木施工管理技士会湖南支部（高橋武宏支部長）は先月28日、CPDS／CPD認定講習会（土木・建築）として、「土木・建築構造物におけるコンクリート長寿命化対策」セミナー・フォーラム&パネルディスカッションを開催した。

今回は、コンクリート構造物の老朽化と早期劣化の



パネラーの先生方（後方）に感謝の言葉を述べる猪飼支部長（左端）

問題が注目され効率的かつ効果的な維持管理が求められる昨今、コンクリートに関する有識者を招き、コンクリート構造物の品質確保、劣化対策、長寿命化の最新の技術を参加者が学習し、施工管理技術者としての専門性を高め、新しい時代に向けて地域インフラ整備と地域社会に寄与することを目的に、セミナーとフォーラム&パネルディスカ

ッション形式で開催した。午前中は、▽伸縮装置および床版防水の一体化工法の紹介「ARCHITECT ONEPIECE GEL SYSTEM工法（NETIS登録）」▽リノブリッ（株）事業本部長・永田善裕氏、▽橋梁床版の現状と補修技術に係わる断面修復材等の紹介「無収縮グラウト材」▽トクヤマエムテック（株）日本事業部・左巴良平

氏、▽非破壊試験器の紹介「電磁波レーダー」、鉄筋腐食診断器、地中探査レーダー等（現物展示あり）▽KEYTEK（株）・株本重雄氏、▽けい酸塩系表面含浸材の紹介「長寿命化アイテム・CS-21シリーズ製品（NETIS登録）」▽アストン協会事務局・山本昌宏氏の4講習を聴講。

午後からは、▽「コンクリートの品質管理と維持管理の基礎知識」▽福井宇部生コンクリート（株）常務取締役・石川裕夏氏、▽「鉄道構造物の維持管理の取組と課題」▽JR西日本技術顧問・松田好史氏、▽「コンクリート構造物の維持管理（インフラメンテナンス全般）」について▽立命館大学理工学部特任教授・岡本享久氏らの基調講演をそれぞれ聴講したのち、3氏に滋賀県南部土木事務所の岡田健一室長、立命館大学の川崎佑磨准教授および福山智子准教授、（一社）滋賀県土木施工管理技士会湖南支部の桐畑昌広氏の4氏

を加えた計7氏をパネラーに、建協湖南支部・西尾孝男氏の進行によって「インフラ長寿命化に資するメンテナンスサイクルの構築における建設業の課題」と題しパネルディスカッションを開催。

各界の第一人者がそれぞれ分野で最新の知見・意見を披露し、発注者と施工者も加えた全方位から有意義な議論を交わした。地域

における人材育成と地域に合った技術、産官学連携の枠組みづくりの重要性なども確認し合った。最後に猪飼支部長が「工事施工を産業とする我々に必要な材料に関する有効な知識を得られ、参加頂いた先生方に感謝とともに自信を持って施工に携わっていききたい。今後ともこういった機会を設けたい」と感謝の言葉を述べた。